

～防除室だより vol.52～

病害虫防除室
2020年6月15日

ツマジロクサヨトウの見分け方

今回は、ツマジロクサヨトウの生態や被害、防除対策について記載した。今回は、実際に圃場等でツマジロクサヨトウと疑われる個体を見つけた場合の見分け方について説明します。

1. 幼虫の見分け方

大きさは、最大で4cm前後になります。体長が2cm以下の若齢幼虫では識別ができないので、老齢幼虫を探します。

見分け方のポイントは、頭部の複眼と前額の境界にある淡色の逆Y字状の模様と尾部の黒色斑点です。(図2)

体色は、茶色いものから黒っぽいものまでいて他種と判別しにくいので、注意しましょう。(図1)



図1 幼虫の体色の変異(農林水産省資料より引用)

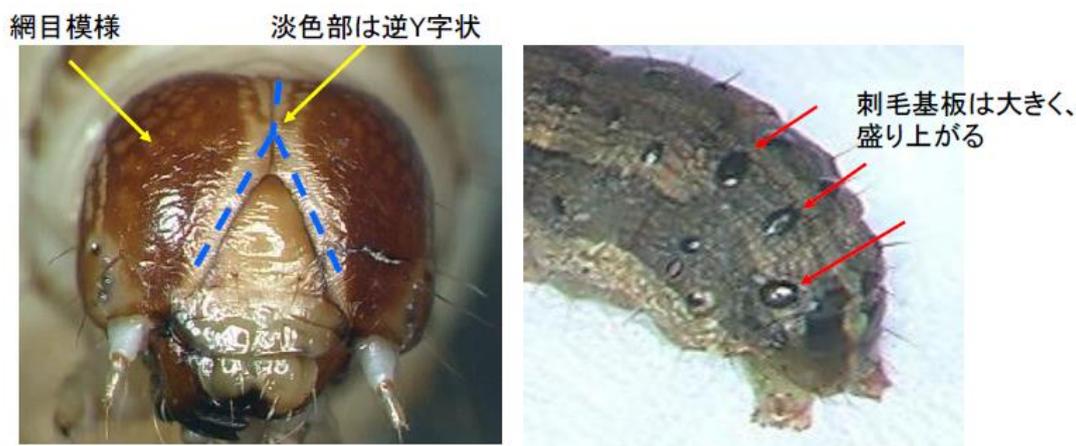


図2 幼虫の見分け方のポイント(農林水産省資料より引用)

2. 成虫の見分け方

成虫で見分ける場面は、フェロモントラップや予察灯による調査が多く、圃場で見分ける場面は少ないと思われます。

成虫は、開張約 37mm 程で、雌雄で外観が大きく異なります。

見分け方のポイントは、雄は前翅中央付近の斜めの黄色い斑紋と翅頂の白色紋等です。雌は斑紋はやや不鮮明ですが前翅中央付近に楕円形の小さい灰褐色紋等です。(図3)

雄の方が特徴がはっきりしていますので、雄の方が見分けやすいです。

フェロモントラップは、捕獲されるのは雄だけなので、見分けるには好都合です。

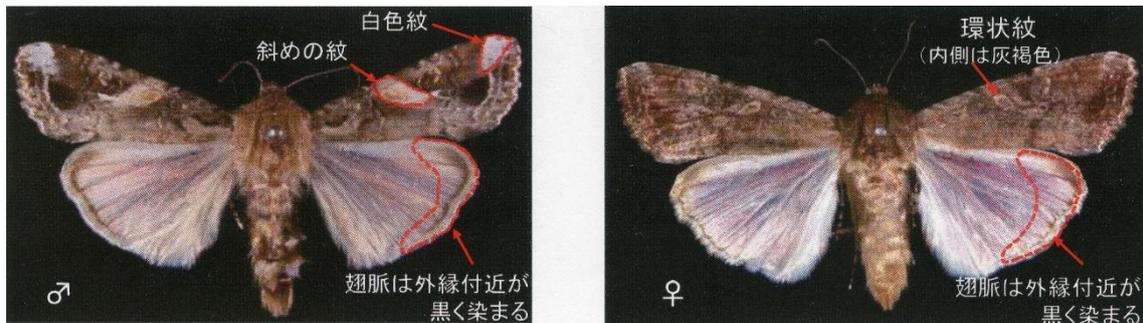


図3 成虫の見分け方のポイント(農林水産省資料より引用)